

【I】 次の風刺画は、1879年に明治政府が琉球に対して行った政治的措置に関して、日本・中国・琉球の三者の関係を主題に描かれています。この風刺画に関わる下記の問い（問1～問7）に答えなさい。



（『团团珍聞』第109号、团团社、
1879年5月24日発行）
国立国会図書館デジタルコレクション

問1 琉球は、中国に朝貢し、冊封を受ける関係を築いていました。こうした中国を中心とする外交体制が東アジア世界では維持されており、華夷秩序と呼ばれます。この華夷秩序に関わる説明として誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 漢民族を中心とする中国では、自国こそが中華（文明の中心）であり、未開で劣った周辺諸民族はその文明を慕って朝貢してくるものと考えられた。

イ 東夷にあたる日本は遣唐使を送って、唐に学びつつも、独自の律令制をつくり、隼人や蝦夷を蕃夷とみなして小さな華夷秩序をつくろうとした。

ウ 室町時代、足利将軍は貿易をめあてに朝貢・冊封関係を受け入れて、日宋貿易を展開した。

エ 南蛮にあたるベトナムは、中国と朝貢・冊封関係を結んだ。

問2 江戸時代、琉球の王は、徳川将軍が代替わりをすると、その就任祝いの使節を江戸に派遣しました。この使節名を漢字3文字で答えなさい。

問3 江戸幕府は琉球の支配を藩に委ねていました。その藩を、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 対馬藩 イ 薩摩藩 ウ 長州藩 エ 佐賀藩

問4 問1～3でみたように、琉球は中国と日本とに「両属」していました。この風刺画から読み取れる内容について誤っているものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 中央の巨像は、琉球を表しており、右手に唐芋、左手に泡盛を持っている。
- イ 中央の巨像の右足は中国側、左足は日本側にあり、琉球が両属関係にあることを示している。
- ウ 日本側の人たちは、中央の巨像の右足を引っ張っており、日本による一元的な支配を目指していることを伝えようとしている。
- エ 中国側は、船を使って、中央の巨像の右足を引っ張っている。

問5 明治政府が、琉球に対して行った政治的措置は「琉球処分」と呼ばれます。この一連の出来事に関して述べたア～エについて、古いものから年代順に並べなさい。

- ア 首里城を接收し、琉球の王である尚泰を上京させた。
- イ 鹿児島県に編入されていた琉球に対して藩を設置した。
- ウ 清への朝貢を禁止して、福州にある琉球館を廃止した。
- エ 琉球藩の裁判権、警察権を接收した。

問6 琉球と同じように、江戸幕府が藩に委ねて支配を行った地域がありました。その地域と藩の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

ア 蝦夷地—松前藩 イ 蝦夷地—仙台藩 ウ 樺太—松前藩 エ 樺太—仙台藩

問7 「琉球処分」の結果、琉球の帰属をめぐる清（中国）との間で紛争が生じました。これは日清戦争による清の敗北によって日本の琉球帰属が決着するまで続きました。この間、明治政府は琉球の人びとに対して同化政策（日本風の風俗に改めること）を急がずに進めました。その内容を説明しなさい。

【Ⅱ】 次の史料 1、2 を読んで、下記の問い（問 1～問 4）に答えなさい。

（史料 1）『読売新聞』明治 22 年 2 月 23 日

○徳島の二月十一日、十日の夜半より降雪ありしも翌日午前九時頃には一天晴れ渡りしを以て、市中は毎戸に日章旗を掲げ、何となく賑わしき景況を呈せり、中学校師範学校及び各高等小学校の学生は一大運動会を開きて、遙かに宝祚万歳を奉祝し、又た有志者は所々に於て祝宴を開きたるが、中に尤とも盛会なりしは旧城内に於て催せしものにて、近傍各郡より集会したるもの無慮一千余名故にさすがの広き同所も来会者と傍観者とを以て寸分の余地もなき程にてありしと。

（史料 2）『読売新聞』明治 22 年 2 月 14 日

○栗橋の二月十一日、埼玉県北葛飾郡栗橋駅の人民は去る十一日憲法発布の祝意を表せんと、各町に幟を立て、各戸に国旗及び球燈を掲げ、大縁門を設くるあり、大燈籠に憲法の二字を書するあり、花車を引き出し馬鹿囃・手踊等を為すあり、力士を傭ふて相撲を興行するあり、島中高等・栗橋尋常の両小学生徒凡そ三百五十人祝賀式を終えし後、隊伍を組みて押出し、男性は洋服にて各自に小旭旗を携へ、女生徒は何れも束髪に日の丸の簪を挿し、校長只見氏の作に係かる憲法の歌を唱へて各町を一巡し、終わりにて有志者よりは之に赤飯を饗せり、又有志者一同は栗橋小学校内に集まりて盛大なる宴会を開き、以て遙かに両陛下の万々歳を祝し奉りたり、近村より比の盛典を見んとて来集したるもの数百人にて駅内の賑やかなる事実に未曾有にてありしと云。

問 1 史料 1、2 は、明治 22 年（1889）2 月 11 日の憲法発布日における徳島県徳島、埼玉県栗橋のようすを記した新聞記事です。この日発布された憲法の名称について、漢字 7 文字で答えなさい。

問 2 明治政府の要人たちは、幕末に締結された不平等条約の改正や憲法調査等のための欧米諸国の調査を当該期に開設された航路を利用して実施しました。1871 年に実施された欧米視察もその一つです、その使節団の代表者と利用した蒸気船を運行している会社の組み合わせとして正しいものを、次の選択肢ア～エの中から一つ選びなさい。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア 伊藤博文—フランス大西洋汽船会社 | イ 伊藤博文—アメリカ太平洋郵船 |
| ウ 岩倉具視—フランス大西洋汽船会社 | エ 岩倉具視—アメリカ太平洋郵船 |

問3 史料1、2の両者において共通して行われていると思う内容を3点あげなさい。

問4 史料1、2の読み取りから、次のような考察をしました。この考察内容について誤っているものを、次の選択肢ア～ウの中から一つ選びなさい。

ア 憲法発布日の集会に、徳島と栗橋の両地とも近隣地域からも大勢の人が集まったことがわかる。

イ 憲法発布の同日に、徳島と栗橋の離れた2つの地域にて同じ行為が行われている。この点をさらに追究するため、徳島の記事が掲載されている2月23日発行の読売新聞の他の掲載内容をみると、長野県上田、群馬県高崎においても同様の行為が行われていることがわかった。こうした現象からは日本の国民化が進行しているといえる。

ウ 史料1、2で記載されている行為がなされたのは、国民主権の憲法が発布されたからである。

【Ⅲ】 次の風刺画は、イギリスの新聞 *The Daily Express* に 1935 年に掲載されたもので、当時の国際情勢を表しています。下記の 1～9 の問いに答えなさい。

著作権の関係により風刺画は非公開。

左の壺の下には「ABYSSINIAN POTTERY (アビシニアの壺^{つぼ})」と書かれています。壺の上に座っている人物は、当時のイタリア首相です。中央の「LEAGUE」と書かれた人物は、国際連盟 (League of Nations) を表しています。右の「CHINA (中国)」の壺には、「NORTH (北部)」(華北など)と書かれており、壺の中から顔を出している人物は、日本を示しています。

問 1 左の壺の上に座っている人物は誰ですか。

問 2 「アビシニア」はアフリカにあった当時の国名ですが、現在の何という国ですか。次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア エジプト イ エチオピア ウ スーダン エ モロッコ

問3 「アビシニア」問題と国際連盟に関して述べた文として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア アビシニアは、国際連盟の加盟国であった。
- イ イタリアとアビシニアの2国間問題にとどまらず、国際問題に発展した。
- ウ 国際連盟がイタリアへの経済制裁を決議したため、イタリアはアビシニアから撤退した。
- エ この後、イタリアは国際連盟から脱退した。

問4 この風刺画が新聞に掲載された 1935年よりも後にイタリアに関しておきた出来事を、次のア～キのうちから二つ選びなさい。

- ア 第一次世界大戦で敗北した。
- イ 世界恐慌による経済危機に対応するために、オタワ連邦会議を開催し、連邦内の関税を下げ、連邦外の国々に高関税を課す、ブロック経済政策をとった。
- ウ ローマ進軍の後、一党独裁体制が確立した。
- エ 総選挙で第一党となった政党が中心となって議会で全権委任法を通過させたことにより、一党独裁体制が確立した。
- オ ドイツとベルリン＝ローマ枢軸を結成した。
- カ ブルムを首班とする人民戦線内閣が成立した。
- キ スペイン内戦ではフランコ反乱軍側を支援した。

問5 右の壺が表している中国をめぐる当時の情勢を述べた文としてもっとも適切なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 満洲事変の後、日本軍は内モンゴルや華北への侵攻を進めていた。
- イ 蔣介石が上海クーデタで成立させた第一次国共合作により、抗日民族統一戦線が成立していた。
- ウ 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まっていた。
- エ 日本軍が南京を占領した。

問6 この風刺画が新聞に掲載された 1935 年の前後数年間に中国でおきた出来事について述べた次の文 A～C が、年代の古いものから順に正しく配列されているものを、次の選択肢ア～カのうちから一つ選びなさい。

- A 張学良が蔣介石を捕らえて共産党との協力を求める西安事件がおきた。
- B 共産党が本拠地を瑞金から延安に移動する長征を開始した。
- C 国民政府は、日本軍に占領された武漢から重慶に首都を移して抗戦を続けた。

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| ア | A→B→C | イ | A→C→B | ウ | B→A→C |
| エ | B→C→A | オ | C→A→B | カ | C→B→A |

問7 その後、1939 年 8 月に独ソ不可侵条約が締結されると、日本では平沼騎一郎内閣が「欧州情勢は複雑怪奇」と述べて総辞職しました。独ソ不可侵条約の締結がなぜ「複雑怪奇」であると捉えられていたのか、説明しなさい。

問8 その後、日本は、イギリスなどによる援蔣ルート（蔣介石の国民政府を支援するルート）を断ち切ることをねらって、1940 年 9 月にフランス領インドシナ北部に進駐しましたが、この出来事と最も関連するヨーロッパでの出来事を、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア ドイツ軍がポーランドに侵入した。
- イ ドイツ軍がパリを占領した。
- ウ スターリングラードの戦いにより、ヨーロッパでの戦局が転換した。
- エ イタリアが無条件降伏した。

問9 アビシニアと中国のそれぞれにイタリアと日本が支配を広げていた状況に対する国際連盟の対応について、風刺画の描かれ方からどのようなことが読み取れますか。

【IV】 次の表は、1960年、1970年、1980年における「世界各地域の輸出シェア」を比較したものです。下記の1～5の問いに答えなさい。なお、国の分類はこの表にしたがうものとします（例えば、日本は資本主義諸国であり、アジアの国でもありますが、この表ではそれぞれに含まれていません）。

	1960年	1970年	1980年
資本主義諸国	65.9%	70.9%	62.6%
アメリカ合衆国	15.9%	13.5%	11.0%
西ドイツ	8.9%	10.8%	9.7%
イギリス	8.0%	6.1%	5.5%
日本	3.2%	6.1%	6.5%
発展途上諸国	21.9%	18.4%	28.7%
産油国	6.1%	5.9%	17.6%
アフリカ	4.2%	4.1%	4.7%
アジア	9.5%	8.1%	17.8%
社会主義諸国	11.7%	10.7%	8.7%
全世界	100.0%	100.0%	100.0%

石見徹『国際経済体制の再建から多極化へ』31ページより作成

問1 1960年から1980年にかけての変化について、この表から読み取れることを、次のア～キのうちから二つ選びなさい。

- ア 資本主義諸国の輸出量の合計は、1960年から1970年にかけて増加しているが、1980年には減少している。
- イ 全世界貿易に占めるアメリカ合衆国の輸出シェアは、減り続けている。
- ウ 1960年の発展途上諸国の輸出量の合計は、1980年のイギリスの輸出量の約4倍である。
- エ 全世界貿易に占める社会主義諸国の輸出シェアは、増え続けている。
- オ どの年も、アジア諸国の輸出量は、西ドイツの輸出量を上回っている。
- カ 1970年の産油国の輸出量は、1980年のイギリスの輸出量を上回っている。
- キ 1980年において、西ドイツの輸出量は、イギリスの輸出量を上回っている。

問2 1960年と1970年の全世界貿易に占める日本の輸出シェアを比べると、急増していることが分かりますが、その経済状況について述べた文としてもっとも適切なものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 占領下の緊縮財政により、国の財政が安定していた。
- イ 朝鮮戦争が特需をうんでいた。
- ウ 政府は「国民所得倍増計画」を策定し、高度経済成長がもたらされていた。
- エ 固定相場制から変動相場制に移行したことにより、急激な円高が進んでいた。

問3 1970年と1980年のデータを比べると、資本主義諸国については各国も全体も輸出シェアが減っているのに対して、産油国の輸出シェアは増えています。このことに関連する出来事について述べた文として適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 第4次中東戦争がおきた。
- イ 世界的な経済問題に対応するために先進国首脳会議（サミット）が毎年開催されるようになった。
- ウ アメリカ合衆国のニクソン大統領が、ドルと金の兌換停止を発表した。
- エ 石油輸出国機構（OPEC）が原油価格を大幅に引き下げた。

問4 1970年と1980年のデータを比べると、アジアの輸出シェアも増えています。その理由として、1970年代にアジアの新興工業経済地域（NIES）が急速に経済発展をとげたことがあげられます。特に工業化による経済成長が著しく、アジアNIESと総称されていた四つの国・地域のうち、二つの国・地域を答えなさい。

問5 先進国と発展途上国との間の経済格差は「南北問題」と呼ばれるのに対して、発展途上国間の経済格差は「南南問題」と呼ばれることがありました。1970年から1980年への輸出シェアの変化から、発展途上国間でどのような経済格差が生じていたことが読み取れますか。問3と問4も参考にしながら説明しなさい。